

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交通政策課（内線：7100）

3目 交通対策費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)JR山陰本線を活用した因幡・但馬交流等促進事業	13,394	0	13,394				13,394	
トータルコスト	17,388千円（前年度0千円） [正職員：0.5人 非常勤職員：0.3人]							
主な業務内容	山陰本線の利用促進、列車の魅力アップ・PR							
工程表の政策目標（指標）	但馬との直通列車の増便などダイヤ改善							

事業内容の説明

1 事業の目的

山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟(平成22年10月)により、全国や海外からの観光客の来訪が期待される中、因幡・但馬地域の交流拡大等に向けて、今春改正されるJR山陰本線（鳥取～豊岡）のダイヤを維持・定着させるとともに、更なるダイヤ改善を図るためには、利用拡大が重要であることから、地元自治体と連携して、県外からの誘客や地元の利用拡大など山陰本線の利用促進の取組を強力に行う。

2 主な事業の内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
①県・地元市町村等が連携した利用促進	1,500	県、鳥取市、岩美町、PR等により「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会（仮称）」を組織し、鉄道の利用促進を実施 ア 事業内容 ・団体旅行・学校活動及び旅行商品PR等支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベント実施 等 イ 事業費 3,000千円 ウ 費用負担 県：1/2 地元(鳥取市・岩美町)：1/2
②列車の魅力アップ・PR	11,894	新規運行する快速列車等の魅力・話題づくり及び県内外でのPRを行う。 ア 列車の魅力アップ(7,980千円) ・快速列車のラッピング(車体広告) イ 列車のPR(3,914千円) ・鳥取・城崎温泉駅等主要駅及び列車内での看板等のPR ・JR駅等でのポスター・チラシのPR
計	13,394	

3 これまでの取組状況、改善点

- 山陰本線（鳥取～豊岡）のダイヤ改善については、これまで兵庫県と連携してJR西日本に対し要望してきた結果、次のとおり平成23年春のダイヤ改正が行われることとなった。
  - ①新規に臨時快速列車を鳥取～豊岡間で土日祝日に2往復（4便）
  - ②浜坂駅で乗り換えなしの普通列車の直通運転化が2往復（4便）実現
- 余部橋梁の架け替えを契機として、兵庫県但馬地域と鳥取県東部地域が連携を一層深め、交流の基盤である交通インフラを活用した広域観光を推進し地域振興を図るため、新橋の供用開始日（昨年8月12日）に「兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会」を設立し、利用促進に取り組んでいるところ。